



8/26  
(木)

## 獅子島で翼竜の化石発見 東アジアで最古級

約1億年前に生息していたとされる翼竜の化石が獅子島の海岸で発見されました。鹿児島県内で見つかるのは初めてで、オンライン会見が26日に開かれました。

発見した化石ハンターの宇都宮聡さん(東大阪市)は、約17年前に九州初となる首長竜「サツマウツノミヤリュウ」も獅子島で発見。今回、発見された翼竜の化石は、サツマウツノミヤリュウを発見した場所から約20m離れた地層で見つかりました。首長竜と翼竜がほぼ同じ地層で発見されるのは東アジアで最古級とされます。



オンライン会見の様子

発見された翼竜の四肢骨化石



化石は翼を持ち空を飛んでいた「翼竜」の足の骨とみられ、長さ約7cm、太さ約2.3cmの楕円筒型の形をしています。

会見では、化石発見の経緯や学術的意見のほか、化石のネーミングを「薩摩翼竜」と名付けたことが報告されました。

宇都宮さんは「最初はアンモナイトの化石と思っていたが、翼竜だと分かり、とても驚いた。地元のかたがたに愛着を持ってもらいたいという思いを込めてこの名前にした」と話しました。

今後は、さらなる調査や研究が進められ、長島町に寄贈される予定です。



薩摩翼竜のイメージ©川崎悟司

8/27  
(金)

## 地域安全ポスターコンクール金賞 絵画の魅力たっぷり

令和3年度地域安全ポスターコンクールの一般の部で藤後智明さん(伊唐)が金賞を受賞しました。

藤後さんは4月に伊唐小学校に教頭として着任し、専門の美術の知識や技術を生かして、絵画教室を同小中学校で実施しています。

今年度は「特殊詐欺・悪質商法の被害防止」がテーマで、振込詐欺や訪問詐欺などの背景には悪い人がいる、少し立ち止まって考えてほしいという思いで今回のポスターを作成しました。

藤後さんは「金賞を受賞できてうれしい。今後も

子どもたちから刺激を受けながら、たくさん絵を描いていきたい」と話しました。



大浦慶子教育長と受賞した藤後智明さん(写真右)